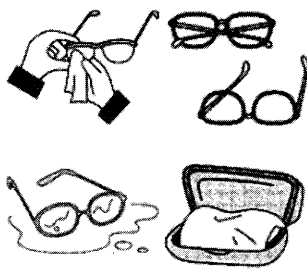


眼とメガネの健康情報

メガネの正しいお手入れ

毎日お手入れ

今回は、良く質問があるメガネの正しいお手入れの仕方をご案内します。メガネをお使いの方なら良くお分かりかと思いますが、メガネは埃などですぐ汚れてしまいます。汚れたメガネを間違った方法でお手入れすると、傷の原因になったり、場合によってはレンズが使えなくなったりすることがあります。



基本のお掃除

基本的なお手入れの方法は、金や鼈甲、チタンなどの素材に関わらず、

まず第一に、レンズは表面にある埃を流水で洗い流し、ティッシュで水気を良く拭き取って下さい。とくに汚れが酷い場合は、洗い桶に中性洗剤を数滴垂らし、何倍にも薄めた液の中でレンズ表面を指で軽く洗い流すとキレイになります。その時に、フレームや鼻パットの部分も汚れているようなら一緒に洗ってしまつて結構です。その後、流水で洗剤成分を洗い流し、同じようにティッシュで水気を良く拭いた後、ケースにしまつて頂ければ完了となります。

最近では、洗浄液を吹き掛けたあとに、軽く水洗いをするだけで汚れ落

としや除菌まで出来るタイプのクリナーも販売されています。より清潔な状態を目指すなら、お勧めです。



注意事項

基本で上げた項目の中で、いくつか注意すべき点があります。

①埃を水で流さずに、そのまま乾拭きするのはキズの原因になります。

②メガネを拭く専用の布(トレシー)は汚れが綺麗に落ちますが、洗わずに繰り返し使うと、布についた汚れでレンズを傷

つけます。数回使つたら、洗濯の後に室内干し(外干しは砂埃が付く為)をして下さい。

③お湯を使うと、熱により素材のプラスチックやレンズのコーティングが傷む原因となります。

※同じ理由で、サウナや温泉、夏場の車内に放置したりドライヤーの温風などは厳禁です。

④水気はしっかり取りましょう。雨に濡れたまま放置するなど、水気が残つたまま自然乾燥してしまつたと跡が残る、取れなくなる場合があります。

特殊な場合

ほとんどのメガネは「基本」と「注意事項」を守って頂ければ問題なくキレイになります。

しかし、中にはより注意しなければいけないメガネがあります。特に注意して頂きたいものは、偏光レンズを使っているメガネ、鼈甲や木などに代表される天然素材を使っているメガネです。

偏光レンズの場合、基本的なお手入れの仕方は

変わりません。ただし、超音波によってキレイにするタイプの洗浄機は使わないで下さい。レンズの中に挟んである偏光フィルムに、水の粒子が入り込み剥離する場合があります。

天然素材は、鼈甲、竹などの木製フレーム、水牛の角、他にも、珊瑚など珍しい素材を使ったメガネもあるようです。

天然素材で作られたメガネは共通して大変高価、かつとてもデリケートなものが多く、その素材にあった手入れ方法をしないとすぐに使えなくなつてしまつ場合が多いです。

もし天然素材のメガネをお使いの方で、手入れの方法にお困りでしたら個別にご相談下さい。

メガネの中材では、いつもキレイなメガネをお使い頂く為に、汚れてしまったメガネのお掃除や、傷んだメガネのオーバーホールなどのメンテナンスを行っております。お近くをお通りの際は、お使いのメガネをお持ちになってお気軽にご来店ください。お待ちしております。

メガネ作りは、知的で高度な技術の作業です。



ベターなものより—ベストなものへ

あなたの目を守る—メガネ専門店

なりむら

Optical Shop

Nakamura

中山駅前店

区役所 第2P

対面のなかもら

至 東神奈川 中山駅 第1P 至 町田

〒226-0014 横浜市緑区台村町290
☎ (045)931-2499(代) AM10:00~PM8:00
<年中無休> 中山駅前店1階2階専用(1階専用)

鴨居駅前店

対面のなかもら

至 東神奈川 鴨居駅 至 町田

〒226-0003 横浜市緑区鴨居1-7-1
☎ (045)933-0003(代) AM10:00~PM8:00
<年中無休>

ららぽーと横浜店

西立休館専用 ららぽーと横浜 3F

対面のなかもら

至 東神奈川 鴨居駅 至 町田

〒224-0053 横浜市磯子区池辺町4035-1(3F)
☎ (045)414-2424(代) AM10:00~PM9:00
<年中無休>